



鎌倉市立七里ガ浜小学校 「御谷の森に学ぶ」

鎌倉市立七里ガ浜小学校の4・5年生に向けて、御谷の森を題材にした出前授業を開催し、社員が講師を務めた。鎌倉の歴史的建造物や景観が地域の人々によって守られてきたことを、映像や資料などをつかって伝えた。

鎌倉市長も参加！

鎌倉市長 松尾 崇さん

鎌倉の緑を守ってきた歴史の意義を、小学校の児童たちに丁寧に説明。世界に誇れるまちを目指している鎌倉市にとっても、強い後押しとなった。



「森もそのままでは守れない、皆さんが関心を持つことがすごく大事だと感じました。そして現状を変えるためには行動することが大切だと思います。鎌倉の先人たちの思いを知って、これからも鎌倉を守っていくために力を合わせて頑張っていきましょう」と松尾市長。力強いメッセージだった。



正面の山が御谷の森。かつてこの地に宅地造成計画が持ち上がった。撮影した場所は、鶴岡八幡宮に仕えた供僧たちが住んだ「二十五坊」跡。国指定史跡である。鎌倉には「やつ」「や」と読む「谷」がつく地名がたくさんあるが、「御」がついて「おやつ」と読むのは、この御谷だけだ。

協力_（公社）日本ナショナル・トラスト協会、（公財）鎌倉風致保存会

年間2000万人もの観光客が訪れる鎌倉。その文化と歴史の起点ともいえる鶴岡八幡宮の奥に広がる緑は、御谷の森という地域の人たちに長年守られてきた土地だ。

三井住友信託銀行 サステナブルな社会づくりのために

「地域の環境・生態系とその保全活動の意義」や「SDGsを通じた地域課題への取り組み」を次世代へ伝える同社のESDプロジェクト。その全貌とは。

photo_Miho Noro illustration_Chihiro Yoshii text_Riho Nakamori edit_Knax

持続可能な
社会づくりの
担い手を育てる
ESDプロジェクト



ESDプロジェクトの一環として 鎌倉で教職員へのサステナブル講習を実施



2019年8月、旧村上邸（鎌倉みらいラボ）にて、神奈川県立高校・中学校の教職員22人を対象に「先生のためのSDGs講習会」を開講。「持続可能な社会の担い手づくり」のため、SDGsを取り入れた授業の実践について教職員に考えてもらうという初めての試みで、SDGs.TV総合プロデューサーの水野雅弘氏をファシリテーターを迎えた。

鎌倉のシンボルとして親しまれている、鶴岡八幡宮。いま私たちが当たり前目にしているその緑豊かな風景は、信託の仕組みをつかったイギリス発祥の「ナショナル・トラスト運動」を参考にした、地域の先人たちによって守られてきたものだ。

鶴岡八幡宮の本宮の背後に広がるのが、鎮守の森ともいえる「御谷の森」。ここは、古くから鎌倉を守る聖なる森として大切にされてきた。ところが、高度経済成長期の1964年、御谷の森に宅地造成計画が持ち上がり、開発によってこの風光明媚な地が壊される危機に晒されてしまう。この事態を憂慮した作家の大佛次郎氏や地元在住民たちが立ち上がり、鎌倉風致保存会を設立。保存会は全国からの募金によって、開発予定地とされた1.5ヘクタールの土地を2年後に買い取り、森を守ったのだ。このことから同会は、日本初のナショナル・トラスト団体といわれている。

御谷の森の活動は日本のナショナル・トラスト運動の先駆けとなり、全国に広がった。御谷の森におけるトラスト運動は「自然保護」と同時に歴史的な文化財を後世に伝える「景観保護」の役目を果たしたことで、この運動を契機に「古都保存法」が制定されたことで、京都・奈良など全国の古都の景観が守られているのだ。

三井住友信託銀行は、この歴史と先人たちの想いを次世代へ受け継ぐべく、全国各地で実施するESDプロジェクトの一環として、保存会設立50周年の2015年1月、地元の小学生へ出前授業を行った。「鎌倉の景観を守るために自分たちができること」について話し合う時間も設けられ「神社などのまわりに家を建てる」「チラシやポスターをつくらせて呼びかける」など子どもたちの間で意見が交わされた。

鶴岡八幡宮の緑あふれる景観を次世代へつなぐために



FSST文化祭 服の交換会

→藤沢支店・藤沢中央支店

2014年に日本で初めて実稼動したスマートタウン「Fujisawa SST」の文化祭では、持ち込んだ洋服を同数の服と交換できる、参加費無料の「服の交換会」ブースを出展。120名が約80点の洋服を持参し、ほぼ同数が新しい持ち主の手にわたった。まさに「循環型ファッション」を体感できるイベントで今年も開催予定だ。

三井住友信託銀行では、全国の店舗で地域の課題解決を目指した取り組み「With You活動」を推進中。全国でもとくに支店数の多い神奈川県内の支店で繰り広げられる多種多様なWith You活動の一部をご紹介します！



各支店の
取り組みは
こちらから



Y-SDGs
- supreme -



Y-SDGs認証

→横浜駅西口支店・横浜支店

県内の大学3校にナプキンを配布するなど生理の貧困問題に取り組んでいる。「世界早産児デー展示会」の実施、「ライオンズ眼鏡リサイクル・プログラム」への参加、フードライブの活動などが評価され、横浜市が行うY-SDGs認証制度で最上位のSupremeを取得した。

Challenge for SDGs! 神奈川県内の取り組み



地元小中高での金融教育

2022年に成人年齢が18歳に引き下げられ、高校家庭科で金融教育が必修となったことから、支店社員が講師となり、各地域の学校で金融教育を提供している。



プラごみゼロ運動

リサイクルされずに廃棄されるプラスチックごみをゼロにしようと、各支店社員が積極的にマイボトルやエコバッグを活用、ごみの分別も徹底している。



地域の学生向け職場体験

→厚木支店

近隣中学校で職場体験授業を実施、信託銀行や商品・サービスの説明、生徒たちが新商品を考えるグループワークも行った。



海岸保全活動

→小田原支店

開店40周年事業のひとつとして、小田原市の御幸の浜海水浴場の清掃活動に社員が参加。かながわ海岸美化財団と共同で「海岸美化に関するパネル展」も開催した。



フードドライブ

→上大岡支店、港南台支店ほか

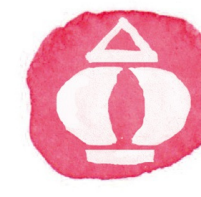
顧客や社員の家庭で余ってしまった食品を持ち寄り、食の支援を必要とする地域の福祉団体や施設に寄付。港南台支店では隣接するグループ関係会社と共同開催するなど活動の輪が広がっている。



絶滅危惧種の保全

→青葉台支店

地域の貴重な生態系を守るための取り組みとして、帷子川とその流域にのみ生息する「大池メダカ」を店内ロビーで飼育・展示している。



地域のお祭り参加

→横須賀支店

地域の繁栄と息災を祈る下町祭礼の「みこしパレード」に社員が参加。店舗がある大滝町内の企業や商店街の商売繁盛を祈願した。



地域への情報発信

→二俣川支店、たまプラーザ支店ほか

支店の財務コンサルタントが講師となり、資金の備え方を伝える「人生100年応援セミナー」、相続・遺言への準備を伝える「エンディングノート講座」などを開催。



LGBTQ関連の取り組み

→相模大野支店

LGBTQの存在を社会に広め、性と生の多様性を祝福する「東京レインボープライド2023」のパレードに社員が参加。



障がい者への配慮

→川崎支店

障がい者への経済的自立支援活動を行う、NPO法人エミフルが制作したポチ袋を、来店客へ配布。誰もが安心して働ける環境づくりを目指すNPOの活動を応援している。



まち美化キャンペーン

→新百合ヶ丘支店

「麻生区美化キャンペーン」や「新百合ヶ丘南口クリーンアップ大作戦」に社員が参加。清掃活動や花壇の植花、普及啓発活動を通じて地域との交流を深めている。



地域と連携したロビー展

→上大岡支店、川崎支店ほか

地域の小中高生が描いた「ひまわり花絵画コンクール」の入賞作品や、地域の魅力を伝える「川崎市観光写真コンクール」の入賞作品のロビー展を定期開催。



名古屋市立中川小学校 児童作品「大好きなみんなの地球」



横浜市立永野小学校 児童作品「みんな仲良く平和に咲く太陽のようないまわり」



佐賀龍谷学園 龍谷中学校・高等学校 生徒作品「未来を夢見る魚」

お話を伺ったのは



フェロー役員
サステナビリティ推進部長
稲葉 章代さん



サステナビリティ推進部主任
石坂 彩さん

三井住友信託銀行の SDGsこれから。

グループで、会社で、各支店でのSDGsへの取り組みを
振り返りつつ、今後、三井住友信託銀行が担う役割について聞いた。

地域の方々に信頼される
金融機関として地域創生に貢献

稲葉 三井住友信託銀行では、これまで
も全国の自治体や地域の方々、地元の大
学や企業などと協力して、地域創生や活
性化に取り組んできました。自然資本関
連では、林業再生や地域の活性化を進め
る取り組みとして「森林信託」を開発し
ました。また急務となる気候変動対応と
して、小田原市で行われたエネルギーの

地産地消プロジェクトでも当社TBF
(テクノロジー・ベースド・ファイナン
ス) チームがサポートを行っています。
TBFチームは、エネルギー、環境、
資源などのさまざまな課題解決に対し
て、技術の観点からアプローチすること
を目的に、水素、蓄電池をはじめとする
さまざまな分野の研究者や専門家で構成
したチームです。気候変動、資源循環、
生物多様性などの地球規模の課題と、地
域の課題を考えながら社会課題解決に貢
献することを目指しています。

石坂 2012年、新銀行となった私た
ち三井住友信託銀行について地域の皆さ
まに知っていただきたい、親しんでいた
だきたいと、「With You (皆さまとも
に)」と愛称をつけたサステナビリティ
活動を全国で展開してきました。これは
神奈川県下の支店のみならず全国の支店
が取り組んでいる活動で、各地域の皆さ
まとコミュニケーションをとりながら地
域課題の解決を目指しています。

With You活動以外にも、社会貢献・
地域貢献の取り組みのひとつとしてス
タートしたESDプロジェクトがありま

す。冒頭で紹介した鎌倉の小学生に向
けた授業は、私自身が講師となり、地域
の先人たちが大切に守ってきた自然や景
観の大切さについて伝えました。以降、
テーマや講師を変えながら全国さまざま
な地域で20以上のプログラムを提供して
います。

新しい発想や取り組みが盛んな
神奈川県での活動を全国へ

稲葉 神奈川県はサステナビリティに関
する有識者をアドバイザーに迎え、「ジャ
パンSDGsアクションフェスティバル」
など、先進的な取り組みを実施されてい
ます。SDGsへの関心を高める仕掛け
づくりは、多くの企業にとっても賛同し
やすいのではないのでしょうか。

石坂 横浜駅西口支店・横浜支店は「か
ながわSDGsパートナー」への登録の
ほか、生理の貧困問題への取り組みが契
機となり、横浜市が実施しているY-
SDGs認証制度の最高位もいただいで
います。これはほんの一例で、全国の支
店が地域の皆さまと長い時間をかけて積
み重ねてきたWith You活動が、この10
年で評価されるようになったと感じてい
ます。

稲葉 当社は北海道から九州まで全国に
支店がありますので、今後は神奈川県内
での優れた取り組みをWith You支店プ
ログ等を通じて、全国に伝播させる役割
を担っていければと思います。私たちが
地域に愛される金融機関としてできるこ
とを積み重ねることで、サステナブルな
社会づくりに貢献できればうれしです。



豊橋市立老津小学校 児童作品
「とよはしの海で水中たんけん」



東京都立新宿高等学校 生徒作品
「伝統の江戸東京野菜「内藤とうがらし」」



姫路市立白鷺小中学校 生徒作品
「姫路城中曲輪バタフライガーデン」



児華学園中学校高等学校 生徒作品
「Take off for the future.」

上記の絵画7点は2021～2022年度に同社が発行した季刊小冊子「SuMi TRUST With You Report」の表紙を飾った作品です。

問い合わせ先 三井住友信託銀行 <https://www.smbj.jp/about/sustainability/csr@smth.jp>

SDGs number **1** **2** **3** **4** **5** **6** **7** **8** **9** **10** **11** **12** **13** **14** **15** **16** **17**